

Profile

【振付】カリエターノ・ソト (Cayetano SOTO)

スペイン・バルセロナで生まれ、同市に拠点を置くカリエターノ・ソトは、世界中の主要なバレエ・カンパニーに作品を振り付けている。欧米やカナダの国際フェスティバルでは、彼のテクニカルで激しく、意外な展開を見せる振付作品が披露された。ソトはバルセロナのインスティテュート・デル・テアトルでダンスを学び始め、ハーグの王立コンセルヴァトリムに進級し、クラシカル・ダンスの学位を得た。その後、1997年にIT Dansa Barcelonaで踊り、1年後にミュンヘン・バレエ・シアターに入団、そこで彼の代表作『Fugaz (流れ星)』を含む複数の優れたバレエ作品を創作した。ソトは2005年からフリーの振付家として活躍し始め、ネザーランド・ダンス・シアター、王立フランダース・バレエ団、チューリッヒ・バレエ、シュツットガルト・バレエ、サンパウロ市バレエ団、ポルトガル国立バレエ、ペルミ・オペラ・バレエ劇場、マッジオ・ダンツァ・フィレンツェ オペラ、ヴィースバーデン・ヘッセン州立歌劇場等から委嘱を受けている。また、シュツットガルト・バレエ、ブラウンシュヴァイク州立劇場、ヴィースバーデン・ヘッセン州立歌劇場、アウグスブルク・バレエ、Ballett im Revier, ニュルンベルク州立劇場、バレエ・ドルトムント等ドイツのカンパニーと共に多くのバレエを創作している。09年、アスペン・サンタフェ・バレエおよびIntrodansとのコラボレーションが開始され、多数のバレエ作品を創作している。バレエ・ドルトムントには新制作『カルメン』(全幕)を振り付け、この公演の成功で、チェコのNárodní Divadlo Brnoでも10年に同作品が上演された。ソトがサンパウロ市バレエ団のために15年に『ADASTRA』を創作した際のエピソードがドキュメンタリー番組として、アルテ1ブラジルで放送され、この『ADASTRA』は、同市マスコミによるベスト・パフォーマンス・オブ・ジ・イヤーにノミネートされた。2015年9月から3シーズンにわたりカナダのBallet BCで常任振付家を務め、16/17シーズンにはフィラデルフィアのバレエXの振付フェローシップ・メンターを務めた。06年、王立フランダース・バレエ団で開催された振付コンクールUncontainableで、ソトはバレエ作品『24FPS』で1位を受賞。サンパウロ市バレエ団がソトに委嘱した『Canela Fina』は、ブラジルの新聞Folha de São Pauloで08年のベスト・ダンス・プロダクション賞に輝いた。11年には、振付作品『Uneven』でロシアの最も格式高い舞踊賞であるゴールデン・マスク賞にノミネートされた。